



ダストモニター

－ 関西オートメーション株式会社 －

プローブへの付着に影響されずばいじん濃度を測定！



VIEW370



Leak Alert65-02

特徴

- ・プローブへの付着や汚れの影響をほとんど受けません
- ・測定条件に応じて、テフロン被覆や特殊エアパージ、耐熱仕様 (Max.800°C) のプローブが製作可能
- ・1台のコントローラーで最大16台のセンサが接続可能 (VIEW370PLUS)

概要 (技術原理、動作等)

【測定原理】

排ガスダクト内を流れるばいじん粒子とプローブ間で発生する電荷移動を利用し、ばいじん濃度に応じた電流変化を測定する方式です。ダクト内にプローブを挿入しますが、非接触でばいじん濃度を測定する国内唯一の製品です。

関西オートメーション株式会社

〒530-0056
大阪市北区兔我野町2-14

URL:<http://www.kansai-automation.co.jp/>

E-mail infoj@kansai-automation.co.jp
TEL:06-6312-2071 FAX:06-6314-0848



技術・製品の性能・スペック

【コントローラー仕様】

項目	仕様
電源	AC90～260V 1A(50/60Hz)
出力	DC4～20mA(絶縁型 抵抗負荷 Max.500Ω)
分解能	<0.01mg
自己診断機能	通信・プローブ絶縁・ZERO・SPANチェック
メモリ容量	短期 7日間 @1分 パルス 2時間 @1秒 アラーム 500個
許容温度	周囲温度 -10℃～+55℃

【センサ仕様】

項目	仕様
許容温度	周囲温度 -25℃～+55℃ ダクト内温度 -25℃～+250℃(標準仕様) -25℃～+400℃(中高温仕様) -25℃～+800℃(高温仕様)
プローブ長	Max.1500mm (1500mm以上のものは別途打合せ)
プローブ材質	SUS316・テフロン(オプション:テフロン被覆)
センサ接続	ねじ込み R1・1/2以上 (フランジ接続も製作可能)

適用例・実績

【バグフィルターでの活用】

一般的なバグフィルターは、ろ布洗浄時には、瞬間的に排気ダスト濃度が上昇します。この時、もしろ布に異常があったとすると排気ダスト濃度が急激に上昇します。

ダストモニターをバグフィルターの出口に設置し、ダスト濃度を監視することにより、

初期不良の予知

この急激な濃度上昇がろ布が破れる前の兆候ですので、次回の設備運転停止時にろ布を交換することにより、ろ布が完全に破れることを防止できます。

ランニングコストの低減

右図トレンドのように、早期異常が発生しているろ布を特定できるため、必要なろ布のみ交換することが可能です。

●ダストモニター出力トレンド

